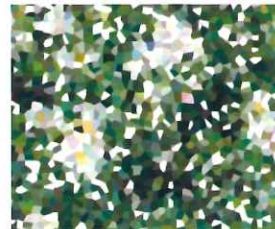


# 佐倉ばら会通信

Sakura Rose Society



No.  
**7**

2017.April

事務局

住所：〒285-0858 千葉県佐倉市ユーカリが丘 2-1-8 佐倉ユーカリが丘郵便局留

TEL 080-5966-1187 FAX 043-487-1539

URL : <http://www.facebook.com/sakurabarakai/>

## ジャパンガーデンツアーに

### 世界のロザリアン(バラ愛好家)が参加

## 歓迎パーティーを佐倉草ぶえの丘バラ園で盛大に開催



歓迎パーティーで挨拶する 藤和雄佐倉市長

2016年(平成28年)5月18日(水)から23日(月)まで、中国の北京で、世界バラ会議の一つ「世界ヘリテージローズ会議」が開催され、世界各国から多数のロザリアンが参加しました。ヘリテージローズとは、遺産とすべき特別な由来を持ったバラのことですが、この大会の終了後、日本を訪れるロザリアンの皆さんのために、NPO バラ文化研究所の主催(佐倉ばら会も協力)により、ジャパンガーデンツアーが企画され、

5月30日(月)から6月2日(木)までの日程で、国内の有名なガーデンの見学ツアーが実施されました。

また、ツアー開始の前日の5月29日(日)には、佐倉草ぶえの丘バラ園を会場に、歓迎パーティーが盛大に行われ、バラの花の咲き誇る会場で、参加された皆さんの親睦を深めました。

今回は、このジャパンガーデンツアーに参加された、佐倉ばら会会員の湯浅宗倫さん(佐倉市六崎在住)のリポートを掲載させていただきます。



和やかに行われたパーティー

## ジャパンガーデンツアーに参加して

2016年(平成28年)5月、北京で開催された世界バラ会連合の会議の後に、日本を訪れる世界中のロザリアンたちと一緒に、バラいっぱいの旅を楽しみませんか?との佐倉ばら会からの誘いに、妻の後押しもあり、夢のようなツアーに参加しました。

総勢30人(外国人17人、日本人13人)による5月30日(月)から6月2日(木)までの旅の始まりは、あいにくの雨でしたが、佐倉草ぶえの丘バラ園にて、殿堂入りバラ園及び優秀庭園賞受賞記念プレートの除幕式が行われた後、園内を散策。バスにて、次の目的地である京成バラ園に向かいました。花の盛りは若干過ぎていたものの、その花の多さに参加者からは、オー・ビューティフルの歓声が。続いて東京調布市の神代植物公園に到着。そこには自然豊かな樹々と、世界中の殿堂入りバラが植栽されており、貴重な体験でした。

1日目最後に訪れた横浜イングリッシュガーデンでは、育種家の河合伸志(たかし)さんに案内していただきました。ガーデンは、その豊富な植栽量に驚きました。ちょっと開花期が過ぎてしまったことが残念でした。

ツアー2日目は、箱根湿生花園を訪れ、自然溢れる広大な園内を散策、大文字焼きで知られる山を真近に見ること出来ました。芦ノ湖遊覧船を楽しんだ後、熱海のアカオハーブ&ローズガーデンは、太平洋を望む自然をそのままに、バラをテーマごとに配置されたとの事、圧巻の景観を満喫することが出来ました。

夜は、このホテルで、楽しい食事会と、2018年に世界バラ会連合主催の世界バラ会議が開催される予定の、デンマーク・コペンハーゲンのバラ会会長でもあるMrs.Ingerさんから、世界バラ会議の成功に向けてのプレゼンテーションがあり、海外のお客様との楽しい交流の一時を過ごしました。



2日目の夜の食事会で(右端が湯浅さん)

3日目は、岐阜県にある花フェスタ記念公園バラ園です。広大な敷地に圧倒され、時間の関係で一部のみ鑑賞でしたが、日ごろカタログでしか

見られないバラを目の前にワクワクしました。なお、京都駅にある宿泊先、ホテルグランヴィア京都の夜景がととても素晴らしかったです。



浜寺公園バラ園

6月2日の最終日は、大阪の浜寺公園バラ園です。ここは県立公園内にあり、日本の風土をイメージした5つのゾーンで構成された回遊式庭園で、これまでバラ栽培に欠かせなかった化学農薬の防除を、2005年度に農水省の化学農薬飛散防止に関する通達が出されたことにより、その依存をやめ、現在は物理的・科学的栽培手法の改善を行っている旨の説明があり、各所に誘蛾灯・フェロモントラップ等が設置されていました。ロザリアンなら誰もが悩んでいる問題に真剣に取り組んでいる事に感心しました。

その後、ツアー最終目的地、大阪のディビッドオースティン・イングリッシュガーデンにて、参加者一同記念撮影でっこり。

それぞれ思い思いに園内を散策しました。私にとって一番見たかったバラ園だったので、子どものころに戻った様でした。

(帰宅後、このバラ園から欲しかったバラを買い求めたのは言うまでもありません)

長いようであつという間の4日間、英語の話せない私が楽しく過ごすことができたのも、同じバラを愛する仲間だからこそと思います。とりわけ、小川晶先生(世界バラ会連合元副会長・東北大学名誉教授)には大変お世話になりました。この場をお借りして心から感謝申し上げます。



ディビッドオースティン・イングリッシュガーデン



## アジアで唯一の殿堂入りバラ園と、優秀庭園賞の受賞を記念し、佐倉草ぶえの丘バラ園の入口にプレートを設置

佐倉草ぶえの丘バラ園は、2013年(平成25年)に、アジアで初めて、アメリカのカリフォルニア州サン・マリノ市にある教育研究機関ハンチントン・ライブラリーから、「殿堂入りバラ園」に、選ばれています。殿堂入りの理由は、同バラ園が、バラの歴史の重要性を日本のバラ界に啓蒙することにより多大な貢献をしたこと、そして、ボランティアの力を結集して、貴重品種の収集と保存に偉大な業績を残したこと、さらに、その重要性を、より多くの皆さんに訴えたこと等によるものです。また、2015年(平成27年)5月27日から6月4日まで、フランス・リヨンで開催された世界バラ会連合主催の第17回世界バラ会議において、京成バラ園、熱海市のアカオハープ&ローズガーデンと共に、優秀庭園賞を受賞しています。これは、ガーデンの美しさと魅力、メンテナンスの質の高さ、一般人々への影響力、バラとバラ文化の普及実績等が高く評価されての受賞となったものです。殿堂入りバラ園表彰と、優秀庭園賞のダブル受賞は、アジアで唯一、佐倉草ぶえの丘バラ園だけで、世界からも高い評価を得ています。なお、優秀庭園賞は、これまでに、世界21か国で42か所のバラ園が受賞しており、日本国内では、花フェスタ記念公園(岐阜県)、福山市ばら公園(広島県)、朝(うつぼ)公園バラ園(大阪府)、神代神代植物公園(東京都調布市)が選ばれています。この受賞を記念して、2016年(平成28年)5月30日(月)に、佐倉草ぶえの丘バラ園の入口に、記念のプレートが設置されました。



設置されたプレート

### 現代バラのルーツ シリーズ7

## Rosa alba

前原克彦佐倉ばら会会長による、現代バラのルーツについての連載7回目です。

### ロサ・アルバ(Rosa alba)

アルバとはラテン語で白のこと。「白いバラ」という学名のついたバラです。このバラは白バラのルーツと言われています。

中世ヨーロッパでは、キリスト教によりバラの栽培を禁止された時期があったそうです。

あまりに華麗で、官能的で人を惑わすものとしてみなされたようですが、可憐なアルバローズは修道院の庭で栽培を許されと言われています。

バラ文化研究所は草ぶえの丘バラ園を運営する前、「ローズガーデンアルバ」を運営していました。このバラ園に植えられていたバラが全て草ぶえの丘バラ園に寄贈され、現在も美しい花を咲かせています。



アルバ・セミプレナ

### 会員のコーナー

佐倉ばら会事務局では、会員の皆さまからの投稿を受け付けています。

バラに関する随想、旅行記、ガーデンの紹介等、バラに関するものでしたら、特に規定はありません。多くの皆さまの投稿をお待ちしています。

今回は、佐倉市大蛇町在住の、渡辺雄二さんの旅行記を掲載させていただきました。

古代の遺跡に堅固な大理石の円柱が、それでも崩壊し半ば土に埋もれているのは、野の花が可憐に咲いているのを見ると、ソロモン王に関する聖書の一節が胸裏を掠めます。そこからわたしの空想は、その言葉の意味を離れ、暫しそこに立ちどまり、ソロモン王の豪華な宮殿をその空間に建てはじめます。そして、ひとときその迷宮の中をさまよう楽しみが遺跡にはあります。

ローマ市街のほぼ中ほどに、古代ローマの遺跡フォロ・ロマーノの空間が広がっています。その一面に、円柱を思わせる幾体もの古代の彫像に見つめられながら、濃いピンクの花を咲かせている薔薇の回廊があります。そこに立ち、周囲を見回す視線の先に、古代ローマの元老院の遺構が映っています。旅が空間の移動とすれば、時の移動は視線が生み出した元老院の遺構の幻影に向かって、わたしの中で新たに旅をはじめることにはなりません。であるならば、そこにシェークスピアの舞台の書割をだまし給のように配置し、先ほど咲いていた薔薇をそこに描き、ただ、花びらは青紅に変容し、その舞台に赤い血潮に染まったジュリアス・シーザーの死体が現われ、わたしに語りかけてくる薔薇を静かに観ている、ローマの午後の強い日差しの中で。

バチカンのミュージアムの仄暗い部屋に、人から神に変容を遂げる聖書の黙示を描いたラファエロの絵 Transfiguration が置かれていますが、神々の物語である神話の中にもこの変容がみちみちています。いや、まさに変容こそ古代ギリシャ、ローマの神話の集大成である詩人オウィディウスの著作の題名 Metamorphoses でもあったのです。

神々と人間が、その誕生から、愛、孤独、葛藤、闘争、そして死へと続く物語の果てに象徴としての花に変容する。水仙、ヒヤシンス、アネモネなど幾多の花々はどのように咲いているのです。では薔薇はどのように咲いているのか。

薔薇はその花容、色彩、芳香のすべてにおいてひとつの変容譚では語り尽くせないようなひろがりを持ち、そのしなやかな枝を人、あるいは人間の歩みに近く寄り添わせ、咲き、匂い、そして魅了します。神々が生きていた時代、神々の薔薇、そして神々が去ったいまも変容を重ねています。そう、薔薇は薔薇に変容する。

[[ローマ・フォロ・ロマーノにて(2015年9月)]]



フォロ・ロマーノ

## 平成28年度佐倉ばら会総会から

佐倉ばら会の平成28年度総会が、平成28年4月16日(土)に、佐倉草ぶえの丘研修室で開催され、全議案が原案通り可決・承認されました。なお、総会終了後、平成27年度の佐倉ばら会日帰りバスツアーで、交流会を実施した鎌倉ばら会会長の金子常郎氏と、同幹事の渡辺治道氏との対談による記念講演が行われました。講演は、「佐倉草ぶえの丘バラ園の歴史とその役割」と題して、佐倉草ぶえの丘バラ園の開設に至る経緯も含め、日本のバラの父と慕われた故鈴木省三氏との出会いと、佐倉草ぶえの丘バラ園の前身であるローズガーデン・アルバとの関わり等について、興味深い内容の対談となりました。鎌倉ばら会は、発足60年以上の歴史がある日本でも伝統のあるばら会です。佐倉草ぶえの丘バラ園の開設にあたっては、側面的なご協力をいただいています。金子常郎氏は、日本のヘリテージローズ研究の草分け的存在であり、御尊父は、戦前の「帝国薔薇会」時代からバラ文化の普及、発展に尽力された方です。なお、金子常郎氏は、平成28年11月28日に逝去され、今回の総会時の講演が、最後の講演となりました。心からご冥福をお祈りいたします。



対談を行う金子氏(左)と渡辺氏

### 佐倉ばら会 企画事業から

#### 佐倉ばら会 会員の庭園・ガーデンの見学

平成28年4月~11月

佐倉ばら会の会員の庭園・ガーデンの見学として、それぞれ期間限定で、開放していただきました。ご協力をいただいた庭園は、次の通りです。ご夫妻で丹精込めて育てられたバラが見事な、佐倉市六崎の湯浅宗倫、サダ子氏の庭園(4月20日~5月末日)、日本庭園とバラのコラボレーションが美しい、佐倉市石川の小出義雄、啓子氏の庭園(5月16日~5月末日)、そして、平成28年度からご協力をいただいた佐倉市大蛇の渡辺雄二氏の庭園(5月10日~25日)は、イングリッシュガーデンを取り入れたガーデンです。そして、斜面に多くの種類の花々を鑑賞できる、八千代市勝田台北の貝殻亭リゾートのガーデン(4月15日~11月末日)、多くの種類のハーブとバラを見学できる、佐倉市木野子の日本サーナのハーブ園(5月16日~11月末日)の5か所を、佐倉ばら会としてご紹介し、会員の皆さんのほか、知り合いの皆さんのご都合のつく日に、見学をしていただくということで、実施いたしました。平成29年度も、皆さまのご協力をいただき、引き続き実施する予定です。詳しい日程等につきましては、別途ご案内をご覧ください。見学をしていただきたいと思います。

#### サロントーク「バラの不思議」

平成28年7月23日(土)

平成28年7月23日(土)に、佐倉草ぶえの丘研修室で開かれました。講師は、鈴木省三氏に師事され NPO バラ文化研究所副理事長として草ぶえの丘バラ園の運営にも携わり、「オーロドローズ花園鑑賞」(小学館)等、多くのバラに関する著書も執筆されている佐倉ばら会の名誉会員でもある野村和子氏をお迎えしました。今回は、「バラの不思議」と題して、何気なく接したり、語ったりしているバラに潜む、多くの不思議について、興味深いお話がありました。バラの歴史をたどると、人の歴史と重なり、しかも、特別の花であったバラについて、古代から近代に至るまで、様々な観点からの不思議について、プロジェクターを使いながら詳しく解説され、薔薇と人との深い関係について、より一層理解を深めることが出来たサロントークとなりました。



サロントーク

#### 日帰りバスツアー

平成28年10月28日(金)

平成27年度は、鎌倉日帰りバスツアーを実施し、歴史ある鎌倉ばら会との交流会を行いました。平成28年度は、10月28日(金)に、秋のローズガーデン&ワイナリーを巡るツアーということで、茨城県への日帰りツアーを企画しました。まず、午前中は、広さ約3,000平方メートルの庭園に、約150種のイングリッシュローズ、同じく約150種のオールドローズを配すなど、全体で700品種、2,500本のバラが楽しめる「藤澤邸バラ園」を訪れました。藤澤邸は、つくば市の元市長で名誉市民の、藤澤勲兵衛氏の庭園です。屋は、「シャトーカミヤ」で、フレンチのランチコースを楽しみました。シャトーカミヤは、フランスに現存した醸造場をモデルに、ポルドー地方の技術を用い、葡萄の栽培からワインの醸造、瓶詰めを一貫して行う日本初の本格的なワイン醸造場です。2007年(平成19年)11月には、経済産業省から「近代化産業遺産」に認定、さらに、2008年(平成20年)6月には、同施設の旧醸造施設(旧事務室・旧醸造室・

旧貯蔵庫)の3棟が、国の重要文化財として認定される等、その歴史的価値の高さが広く認められています。午後は、築300年の「坂野家住宅」(1968年(昭和48年)に国の重要文化財指定)を見学しました。同住宅の江戸中期に建てられた主家は、大型住宅としてそれ自体が珍しく、江戸後期になって接客用に増築された屋敷部や表門と共に、豪農屋敷の発展過程を知ることが出来る貴重なものです。そして、併せて、坂野家の皆さんが育てられた「The Natural Garden of Sakano」を訪れました。このガーデンは、3つの中心的なエリアを持つ約3,000平方メートルのナチュラルガーデンです。約500種のオールドローズ、モダンローズを持つバラ園をはじめ、櫻、ナラ、クヌギ等の高木の木漏れ日で、輝くようなバラ、紫陽花のほか、草花と自然との見事に調和させた庭園です。当日は、残念ながら見学時には雨模様となってしまいましたが、坂野家の皆さんの熱心なご案内と解説をいただき、秋の庭園の静かな雰囲気を楽しみました。



シャトーカミヤ



昼食会場

#### 佐倉ばら会 会員懇親会

平成28年11月23日(水)

平成28年度の会員懇親会が、平成27年11月23日(水)に、八千代市勝田台北の貝殻亭2階のガーデンサロンで開かれました。この懇親会は、会員の皆さんが、一堂に会し、会員相互の親睦を深めるために、開催されています。参加された皆さんは、美味しいランチをいただきながら、素晴らしい庭園の観賞、バラにまつわる話や、平成28年度の企画事業について等、祝日のひと時、楽しい時間を過ごし、会員同士の交流を図りました。なお、今回は、参加会員の有志の皆さんが、クイズを作成するなどして、懇親会を大いに盛り上げていただきました。



会員同士の親睦を深めた懇親会

#### つるバラの誘引講習会/木バラの剪定講習会

平成29年1月14日(土)/平成29年2月4日(土)



つるバラ誘引講習会

NPOバラ文化研究所とのコラボレーションにより、平成29年1月14日(土)と、平成29年2月4日(土)に佐倉草ぶえの丘バラ園で行われました。つるバラの誘引や、木バラの剪定は、春に咲く花の位置や、見た目を美しくするために必要で、この時期に誘引や剪定を行うことで、木が力を蓄え、春には一斉につぼみをつけて時期を同じくして花を咲かせます。参加した皆さんには、剪定バサミを使い、春に咲くバラの位置や風景を想像しながら、枝をポールやスクリーンに結びつたり、また、実際にバラの枝を剪定したりして、約1日かけた実習を通して、誘引や剪定の技術を学んでいただきました。



木バラ剪定講習会



## 佐倉市との協働事業から

佐倉ばら会では、平成24年度から佐倉市との協働事業により、JR佐倉駅北口前の景観整備事業を担当しています。これは、佐倉市の観光のテーマでもある「花」を生かし、観光客へのおもてなしの心を表現するため、佐倉市の玄関口ともいえるJR佐倉駅北口前の景観の整備を行うもので、平成28年度も引き続き、通常の管理と併せ、刈り込み、草刈り、植物の植え替え等を、年5回(4月・7月・9月・11月・2月)行いました。

また、佐倉市との協働事業ではありませんが、志津コミュニティセンターのミニガーデンの草刈り、植栽等も同時期に実施しました。



志津コミュニティセンターのガーデン



JR佐倉駅前ガーデン

## バラの普及事業

佐倉ばら会では、バラの普及事業として、バラ花壇の整備について、自ら維持管理をしていただける団体等に対して、花壇造りの助成を行っていく計画です。詳しくは、佐倉ばら会事務局までお問い合わせください。

また、現在、佐倉ばら会では、市内の小・中学校の花壇のバラ剪定作業等を実施していますので、会員の皆さんのお近くの学校の剪定作業に、ぜひ参加され、会員同士の連携を深めることと併せて、バラの普及事業にも積極的にご協力いただきたいと思います。なお、現在、佐倉ばら会として、バラの剪定作業等を実施している学校は、以下のとおりですので、会員の皆さんのご参加を、よろしくお願いたします。

【佐倉地区】・佐倉小・内郷小・佐倉東小・白銀小・佐倉東中  
【臼井、志津、千代田地区】

・臼井小・千代田小・下志津小・西志津小・小竹小・青菅小



佐倉東小のバラ剪定



佐倉小での剪定

## 佐倉草ぶえの丘バラ園のご案内

佐倉草ぶえの丘バラ園(佐倉市飯野 820)は、後世に残さなければならないヘリテージローズ(原種とオールドローズ)の収集、保存をメインに、世界的にも例の少ないボランティアによって管理、運営されているバラ園です。

敷地面積約 11,500 平方メートル、栽品種は約 1,050 種、植栽本数は約 2,500 株、園内は、ミスターローズこと、鈴木省三コーナー、世界の原種コーナー、歴史コーナー、アジアの原種コーナー等、15 のコーナーに分けられており、博物館的な機能を持った植栽がなされています。また、昔の佐倉の風景をモチーフにし、さらに、来園された皆さんの憩いの場となるように設計されており、バラ園を散策しながら、長いバラの歴史に思いを馳せながら、ヘリテージローズの香りと優しさに触れていただけるバラ園です。また、バラと共に、多くの草花も植栽されており、宿根草を中心に、1 年草や球根を組み合わせ、バラとの景観を考慮しながら、白、ピンク、ブルー等淡色の草花を配しています。園内をゆっくりと散策しながら、季節とともに移り変わるバラと草花との織りなす風景を楽しむことが出来ます。

なお、バラ園資料室には、鈴木家から寄贈された書籍、愛蔵品等、様々な資料を合わせて約 9,000 点が所蔵されています。

## INFORMATION 佐倉ばら会の事業にご参加ください!

佐倉ばら会では、平成29年(2017年)度も、多彩な事業を計画しています。現在計画中の主な事業は、下表のとおりです。詳しくは、正式決定後に、会員の皆様には、個別にご案内を差し上げますので、多数の皆さんのご参加をお待ちしています。

### 平成29年度主な事業予定

【協力事業】	【企画事業】	【協働事業等】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPOバラ文化研究所主催事業への協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐倉ばら会会員の庭園の観賞会(オープンガーデン)の実施。 オープンガーデンについては、小出邸、湯浅邸、渡辺邸、貝殿亭、日本サーナハーブ園を予定。詳細については、会員へ案内状を送付。</li> <li>・野村和子氏によるサロントーク(紅茶、ケーキ付き)。 ■日時 7月29日(土) 午後2時~4時 ■場所 佐倉草ぶえの丘 資料室</li> <li>・日帰りバスツアー 10月27日(金) 予定。・君津市のドリブルローズガーデンほかを予定。</li> <li>・つるバラ誘引講習会・木バラ剪定講習会 平成30年1月中の土曜日の1日に、つるバラの誘引を、2月中の土曜日の1日に、木バラの剪定を予定(NPOバラ文化研究所主催の講習会に参加)。</li> <li>・バラの普及活動のための事業。 市内の花壇づくりの助成と維持管理。これまでに実施した染井野小学校、臼井南中学校の花壇の地元会員等による管理。さらに、今後の実施可能な場所及び協力団体等の検討。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR佐倉駅北口前景観整備事業(佐倉市との協働事業)。 植栽及び手入れ(4月・7月・11月・2月)。7月下旬~9月上旬 手入れ(草刈り、水やりを、佐倉ばら会会員、佐倉市(産業振興課)、NPOバラ文化研究所の協力を得て、重点的に実施)</li> <li>・志津コミュニティセンター花壇の維持管理。 佐倉ばら会会員、NPO植栽バラ文化研究所の協力で、植栽及び手入れ(4月・7月・11月・2月)を実施。 日常の水やり等は志津コミュニティセンターで対応。</li> </ul>



JR佐倉駅北口整備事業

以上の事業については、予定ということで、今後、変更になることもありますので、ご了承ください。皆さんも何か事業のアイデア、ご意見等がございましたら、事務局までお知らせいただければ幸いです。

## INFORMATION 佐倉ばら会へのお誘い

佐倉ばら会の活動に、皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。

佐倉ばら会(Sakura Rose Society)は、バラやガーデニングの愛好家である会員相互の親睦を図るとともに、バラ文化の継承及び発展に寄与することを目的に、平成22年(2010年)3月に設立されました。現在、会員を募集中です。正会員の年会費は3,000円です。詳細については、佐倉ばら会の事務局まで、お気軽にお問い合わせください。



■佐倉ばら会事務局■

〒285-0858 千葉県佐倉市ユーカリが丘 2-1-8 佐倉ユーカリが丘郵便局留  
電話 : 080-5966-1187 FAX : 043-487-1539